

平成29年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市母子・父子福祉センター
所在地	四日市市諏訪町2番2号 四日市市総合会館4階
指定管理者	<p>名称 社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会</p> <p>代表者 会長 伊藤 八峯</p> <p>住所 四日市市諏訪町2番2号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次第の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>こども未来部こども保健福祉課家庭児童相談室</p> <p>TEL：059-354-8276</p> <p>E-mail：kodomohokenfukushi@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

施設の管理運営にあたって、職員は誠実かつ丁寧に対応しておりサービス規程の遵守と個人情報の管理も適切に行われています。相談利用件数、事業参加者数ともに実施計画と前年度実績を上回るなか、安定的な施設運営が確保されていたものと判断します。

相談業務については、ひとり親や寡婦に関する生活相談、就労相談等に加えて四日市母子寡婦福祉会活動に関する相談が増加している状況においても、適切に情報提供を行うとともに、こども保健福祉課家庭児童相談室等の関係機関との連携により適切な対応が行われていました。事業の実施については、パソコン講座や親子交流講座を開催運営するなど、技能習得や交流の機会を提供し、利用者の自立支援、社会参加に向けた取り組みが行われており、とりわけ、創作料理を通じて親と子どもとのコミュニケーションを深める親子交流講座は、ひとり親家庭を支援する試みとして高く評価するものです。また、自主サークル（書道、手芸、ちぎり絵、編み物、和裁、リフォーム）の活動支援についても、利用者の交流、親睦、仲間づくりを促進する施設の目的に沿った取り組みが行われています。

なお、指定管理者である四日市市社会福祉協議会は、本施設と同じ四日市市総合会館内に事務局を置くことから、同協議会との連携や職員間の協力体制を確保しやすい環境にあり、本施設を安定的に管理運営するにあたり優位性を保持しているものと判断します。今後も、経費支出の抑制に努めるとともに、同協議会の有する地域福祉分野における専門性を活かしながら施設の効用を高めていく取り組みが期待されます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

施設価値を高め、より良い管理運営のために下記の点を踏まえた働きかけを行っていきます。

- ・ひとり親家庭や寡婦の個々の生活状況に応じた相談業務を実施し、自立と社会参加を支援していくこと。
- ・ひとり親家庭や寡婦の課題やニーズを把握し、効果的な講座開催等の取り組みを実施していくこと。
- ・自主サークル活動の支援にあたっては、利用者を増やし活性化につながる取り組みを行うこと。
- ・社会情勢の変化に即して、引き続き、地域福祉の観点から事業に取り組むとともに、地域に向けた発信力を活かした施設運営を行っていくこと。
- ・予算の執行にあたって、今後においても経費の縮減に努めるとともに、施設目的に沿った新たな取り組みに対しては効果的な財源配分を行っていくこと。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

ひとり親家庭及び寡婦の心身の健康保持や生活の安定向上のため、各種の相談に応じ、生活指導や生業の指導を行うとともに交流の機会等を提供し、ひとり親家庭及び寡婦の福祉の増進を図るという施設の目的に沿った管理運営がなされてきました。ひとり親家庭や寡婦に対して生活、就労等の各種相談に応じつつ技能習得や仲間づくりを通じて生活の安定向上と自立、社会参加を支援する講座を開催するほか、利用者の交流、親睦、協力関係の形成に向けた自主サークル活動への支援についても安定的に実施されてきました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

ひとり親家庭や寡婦の相談業務を行うとともに、生活の安定向上と自立支援のための技能習得講座やサークル活動の場として施設の管理運営がなされてきました。また、創作料理を通して親と子どもとのコミュニケーションを深める試みとして開催された親子交流講座は、ひとり親家庭を支援する特色ある取り組みとして高く評価できます。今後も、利用者アンケートの結果等も踏まえながら、ひとり親家庭や寡婦の生活の安定向上と自立支援に向けて効果的な講座の開催運営が期待されます。

また、ひとり親家庭や寡婦の福祉の向上を目的とする団体である「四日市母子寡婦福祉会」や「三重県母子・父子福祉センター」のほか地域との連携を図ることにより、施設機能をさらに高めることができると考えられます。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

条例・規則等を遵守し、年間を通じて適切に事業の運営がなされてきました。

センターには職員3名を常時2名勤務となる様に配置し、同一建物内に常駐する社会福祉協議会事務局地域福祉課長が所長を兼務することで、同協議会との連携も含めて円滑な運営、施設管理が行われています。また、職員研修について所長からセンター職員に対する個別実施により資質向上、責任性の確保が図られています。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

指定管理における事業費、人件費等の支出については適正に処理され、経理関係書類も整理されました。毎日の利用状況や事業に関する報告書類も整理されており、定期的に内容確認等の点検が行われ、適正性、明瞭性の確保に努めていました。

安全性（安全管理・緊急時等の配慮）

総合会館全体として対応することを念頭に、社会福祉協議会事務局との連携を図りながら、緊急・災害時の迅速かつ安全な行動確保に配慮しており、防災対応要領に沿って緊急時対応が図られるよう訓練を含めた備えがなされています。また、不審者が出現した場合にも、警備委託会社や協議会事務局への連絡も含めて、組織的に対応する体制が講じられています。また、個人情報保護の面でも職員の意識向上が図られていました。

社会性（環境等への配慮）

コピーの裏紙使用や廃棄物の再利用、不用電灯を消灯するなど、施設管理面でも環境負荷を抑制する配慮を怠らず、利用者に対してもゴミの分別やリサイクルなどへの協力を求めながら職員が率先して行っており、公共施設として適正な管理運営に努めていました。

事業収支

経済性

施設の経費節減や業務運営の改善による支出抑制の取り組みにより、適正な経理が行われていました。

団体の経営状態

経営の健全性

財務諸表などを分析した結果、大きな問題は無く、社会福祉協議会の公共性からの財政基盤も含め、安定していると判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

障害者雇用率が3.75%と法定基準（2.0%）の1.88倍に達しており、障害者雇用の取り組みは高く評価できます。また、障害者支援の一環として就労予定者の実習の受け入れを継続して行っている点も評価できます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成29年度

施設名	四日市市母子・父子福祉センター	所管課：こども保健福祉課
所在地	四日市市諏訪町2番2号 四日市市総合会館4階	設置年月：平成2年3月27日
設置目的	ひとり親家庭及び寡婦が、心身の健康を保持し生活の安定と向上を図るため、各種の相談に応ずるとともに、生活指導及び生業の指導を行う等の福祉の増進のための便宜を総合的に供与することを目的として設置	
設置の根拠 (法令、条例等)	母子及び父子並びに寡婦福祉法及び四日市市母子・父子福祉センター条例	
施設の概要	敷地面積 (㎡)	—
		延床面積 (㎡)
	設備の概要	四日市市総合会館4階の一部を事務室(相談室含む)として使用しているほか、講座・サークル活動では別途技能習得室や会議室も、用途・人数に応じて活用している。
事業概要	ひとり親家庭や寡婦を対象とした各種相談、技能習得や仲間づくりを通じた生活の安定向上と自立支援のための講座を実施するほか、利用者の交流、親睦、協力関係を深めるための自主サークル活動の支援を実施。また、ひとり親家庭等の福祉の向上に取り組む関係団体の主体的活動を促進するための支援を実施。	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	244日	245日	1日
開館時間	9:00~17:00	9:00~17:00	計画通り

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	1,500人	1,909人	409人
平均利用率	平均	7.79人/日	1.64人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	4,793,000	4,793,000	0
収入計	4,793,000	4,793,000	0
人件費	3,599,000	3,384,429	△ 214,571
管理費	845,000	882,037	37,037
消耗品費	281,000	383,817	102,817
燃料費	0	0	0
印刷製本費	50,000	24,192	△ 25,808
光熱水費	0	0	0
修繕料	50,000	0	△ 50,000
通信運搬費	40,000	53,000	13,000
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	0	588	588
委託料	0	0	0
賃借料	424,000	420,440	△ 3,560
事業費(技能習得等)	349,000	185,506	△ 163,494
一般管理費	0	0	0
支出計	4,793,000	4,451,972	△ 341,028
収 支	0	341,028	341,028

平成29年度 母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	244日	245日	1日	仕様書に沿って適正に開館した。	適
開館時間	9:00~17:00	9:00~17:00	計画通り	計画どおりに執行された。	適
事業開催	7項目	7項目	計画通り		適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人利用者数	1,500人	1,909	409人	相談利用件数、事業参加者数ともに実施計画と前年度実績を上回った。特に相談利用者数の増加が顕著であり、前年度比約84%の増となった。	適
	団体利用者数	—	—	—		
	事業参加者数	1,020人	1,042	42人		
事業参加者実績	サークル(書道)	13人	13.5人	0.5人	サークル活動については利用者の交流機会を提供する場としての機能も有しており、安定的な活動が行われている。パソコン講座は、技能習得を通じて生活の安定向上と自立を支援する場となっている。また、託児をはじめ講座開催にあたって工夫や配慮を行うなど、ひとり親家庭等を支援する講座として技能習得の機会を提供している点は評価できる。	適
	サークル(手芸)	6人	5.4人	△0.6人		
	サークル(ちぎり絵)	6人	5.7人	△0.3人		
	サークル(編物)	7人	7.9人	0.9人		
	サークル(和裁)	3人	3.0人	0.0人		
	サークル(ワーム)	6人	6.3人	0.3人		
	技能習得(パソコン)	5人	5.1人	0.1人		
	親子交流(巻き寿司)	15人	17人	2人		
稼働率	平均	(244日) 66.8%	(245日) 67.1%	(1日) 0.3%	適	
	平日	(244日) 100.0%	(244日) 100.0%	(0日) 0.0%	適	
	土日祝	(0日) 0.0%	(1日) 0.8%	(1日) 0.8%	適	

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	4,793,000	4,793,000	0		適
収入計	4,793,000	4,793,000	0		
人件費	3,599,000	3,384,429	△214,571	勤務体制 職員配置： センター所長(社協地域福祉課長兼務)1名 臨時職員(非常勤)3名 管理費について、消耗品費の支出が当初の見込みを大きく上回ったものの、印刷製本費の支出が抑制されたことや修繕の対象となる経費支出がなかったことなどから、管理費全体としては計画を若干上回る経費支出となった。一方、事業費について、講師報償費や技能習得講座(パソコン講座)における教材費用や講座開催の際の託児経費について当初の見込みを下回ったことから計画を下回ることとなり、職員稼働を工夫したことによる人件費支出の抑制とも併せて、支出全体としても計画見込みを下回ることとなった。	適
管理費	845,000	882,037	37,037		
消耗品費	281,000	383,817	102,817		
燃料費	0	0	0		
印刷製本費	50,000	24,192	△25,808		
光熱水費	0	0	0		
修繕料	50,000	0	△50,000		
通信運搬費	40,000	53,000	13,000		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	0	588	588		
委託料	0	0	0		
賃借料	424,000	420,440	△3,560		
事業費(技能習得等)	349,000	185,506	△163,494		
一般管理費	0	0	0		
支出計	4,793,000	4,451,972	△341,028		
収支	0	341,028	341,028	適	

総合コメント
技能習得講座の開催や自主サークル活動の支援において、利用者との信頼関係に基づき良好な運営がなされている。とりわけ、親子交流講座の開催に向けた工夫や配慮については、今後においても継続的に取り組んでいくことが期待される。相談件数、事業参加者数ともに前年度実績及び実施計画を上回るなか、事業費支出の抑制にも配慮されており、全体として指定管理受託金の中で適切に施設運営がなされている。

平成29年度 母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>開館日数：245日 延べ利用者数：1,909人 稼働率：67.1%</p> <p>相談件数、事業参加者数ともに前年度実績及び実施計画を上回った。特に相談利用者数の増加が顕著（28年度：470件→29年度：867件）であり、前年度比約84%の増加となった。</p> <p>また、事業の実施状況について、パソコン講座はひとり親家庭の状況に配慮する観点から託児を実施し、技能習得の機会や交流の場の提供による自立支援の取り組みが行われている。さらに、親子交流講座では創作料理を通じて親子のコミュニケーション深めるなど、ひとり親家庭支援の取り組みとして評価できる。</p>	適
事業 収支	収入	収入は市からの受託金のみ。今後も収入見込みは変わらず。	適
	支出	<p>職員の出勤体制について、2名勤務の通常開館体制とは別にサークル作品展をはじめとするイベント及び親子交流講座開催日など、3名勤務を要するものとして年間30日程度を見込んでいたが、職員稼働を工夫し、2名体制にて対応することにより、経費（人件費）の縮減効果を得ている。また、事業費に関して、講師報償費や技能習得講座（パソコン講座）における教材費用及び講座開催の際の託児経費について当初の計画を下回ったことや、パソコンやコピー機器類の修繕費として見込んだ支出について、実際の執行事案がなかったことも支出減の要因となっている。一方で、消耗品費について当初は見込んでいなかったカラーインクカートリッジの購入費用が発生したために、同費目の支出については計画額を超過することとなった。支出状況全体としては、指定管理受託金の中で適切に運用され適正な執行が行われている。</p>	適

平成29年度 母子・父子福祉センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面・実地確認	適切に報告されている。	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	地方自治法ほか関係法令等に関する書類は提出されている。	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、4/27報告、月次報告確認	仕様書通りに実施されている。	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	4/1計画、4/27報告、月次報告確認	仕様書通りに実施されている。	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	4/1計画、4/27報告、月次報告確認	仕様書通りに実施されている。	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	実地確認	定期的に訪問し、十分に情報共有が行われている。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面・実地確認	仕様書通りに実施されている。	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面・実地確認	仕様書通りに実施されている。	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面・実地確認	仕様書通りに実施されている。	適
	非常時・緊急時の対応	付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）			
緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか		書面確認	仕様書通りに実施されている。	適	
緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか		—	緊急事案の発生はなかった。	—	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか			
	点検・保守	法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか			
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	書面・実地確認	仕様書通りに実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか			
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	書面・実地確認	仕様書通りに実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	実地確認	担当職員により点検を実施している。	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか			
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか			
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか			
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか			
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	実地確認	適切に管理されている。	適
防災	マニュアルは作成されているか	書面確認	作成されている。	適	
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か			
	花壇管理	四季の植栽は適切か			
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	書面確認	整備されている。	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	実地確認	更新されている。	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか			
	システム管理	更新・変更は常になされているか			
		トラブルに対応したか			

総合コメント

法令等の遵守及び協定等に基づく業務計画等の実施について誠実に履行がなされていた。各種報告書等は期限までに提出されており、業務の実施及び施設の管理について適正に行われていた。

平成29年度 母子・父子福祉センター 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
サークル（書道）	趣味を通じた生きがいやふれあいつくりを目的としたサークル 開催回数 24回 開催期間 29年4月～30年3月 毎月 2回	定員なし 延べ324名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
サークル（手芸）	趣味を通じた生きがいやふれあいつくりを目的としたサークル 開催回数 24回 開催期間 29年4月～30年3月 毎月 2回	定員なし 延べ129名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
サークル（ちぎり絵）	趣味を通じた生きがいやふれあいつくりを目的としたサークル 開催回数 11回 開催期間 29年4月～30年3月 毎月 1回(30年1月を除く)	定員なし 延べ63名の利用があった。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着しているが、通年で利用者数が減少しており、新規加入者確保等の方策を考える必要がある。	適
サークル（編物）	趣味を通じた生きがいやふれあいつくりを目的としたサークル 開催回数 24回 開催期間 29年4月～30年3月 毎月 2回	定員なし 延べ190名の利用があった。	継続参加者が多く利用者も増加し、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
サークル（和裁）	趣味を通じた生きがいやふれあいつくりを目的としたサークル 開催回数 35回 開催期間 29年4月～30年3月 毎月 3回程度	定員なし 延べ106名の利用があった。	継続参加者が多く利用者も増加し、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
サークル（リフォーム）	趣味を通じた生きがいやふれあいつくりを目的としたサークル 開催回数 24回 開催期間 29年4月～30年3月 毎月 2回	定員なし 延べ152名の利用があった。	継続参加者が多く利用者も増加し、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
技能習得講座（パソコン）	ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進するための技能習得講座として、パソコン講座を開催 開催回数 6回 × 2期 開催期間 29年9月～29年10月 30年2月～30年3月 延べ参加者数 61名	定員10名 延べ61名の利用があった。	ワード及びエクセル講座を実施している。技能習得や社会参加に向けて、ひとり親等の自立を支援する講座として好評であった。講座に際して、託児を実施するなどの配慮がなされている点は評価できる。	適
親子交流講座（飾り巻き寿司）	親と子が協力して取り組む機会を提供し、交流を深めることを目的として、飾り巻き寿司講座を開催 開催回数 1回 × 1期 開催期間 29年7月 参加者数 17名	定員10組（親子） 計17名（8組）の利用があった。	創作料理を通じて子どもとのコミュニケーションを深めるなど、ひとり親家庭支援の取り組みとして好評であった。	適

総合コメント

自主サークルについては、仲間づくりの機会、交流の場として定着しており、10月の作品展を目指して熱心な活動が行われていた。引き続き、新規加入者を確保しサークル活動の活性化に向けた創意工夫が期待される。また、パソコン講座、親子交流講座については、技能習得、社会参加の機会を提供する場として取り組まれており、講座に際して託児を実施するなどの配慮も評価できる。今後も、ひとり親家庭等の自立支援に向けて有効なプログラムの設定を行っていくことが求められる。

平成29年度 母子・父子福祉センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	実地確認	毎月担当職員が訪問し、また必要な都度連絡調整を行っている。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書類確認	仕様書通りに行われている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか			
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか			
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか			
修理	修繕工事は適切であったか				
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか			
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか			
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか			
	修理	修繕工事は適切であったか			
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	仕様書通りに行われている。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	不具合が発生した際の報告は適切になされている。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	適切になされている。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	修繕等はなかった。	—
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか			
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか			
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか			
	修理	修繕工事は適切であったか			

総合コメント
 備品・什器等の保守管理については、台帳に基づき定期的に点検がなされていた。また、維持管理上、修繕工事が必要となるものはなかった。総合的に設備・備品の維持管理は適正に行われているものと判断する。

平成29年度 母子・父子福祉センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否	
運営業務	使用許可、 利用料金の 徴収	スムーズに予約できたか	実地確認	円滑に行われている。	適	
		許可証は速やかに発行されたか	実地確認	仕様書通りに行われている。	適	
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	実地確認	実施の1～2か月前に案内しており適切である。	適	
		ホームページは見易いか	実地確認	画面構成・内容ともわかりやすいものであった。	適	
	受付・対応 業務	担当者の接客態度は良かったか	アンケート確認	良好であった。	適	
		利用者に対する指導は適切であったか	アンケート確認	適切であった。	適	
		業務従業者は名札を着用しているか	現状確認	着用していた。	適	
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート確認 ・ヒアリング	利用者の自立支援を促進し、交流機会を提供するものとして満足できる内容であった。	適		
維持管理業務	施設・設備 の保守管理 業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	適切に管理されていた。	適	
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	実地確認	適切に管理されていた。	適	
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか				
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか				
	警備業務	避難経路には障害物がないか				
	外構・植栽 管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか				
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか				
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか				
		草刈りや除草はされているか				
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	現状確認	快適に利用できる環境となっていた。	適	
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	現状確認	廃棄物は適切に分別が行われていた。	適	
	備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現状確認	適切に管理されていた。	適	

総合コメント

運営・維持管理については、運営状況等をこども保健福祉課家庭児童相談室により定期的に確認しており適正に行われていた。また、利用者アンケートの結果から、技能習得講座は資格取得や就労を目的とする利用者も多く、自立や社会参加につながる講座としての役割を果たしている。また、講座に際して託児を実施するなど利用者の立場に立ったサービス提供が行われている点は高く評価できる。